

# 予防接種・感染症危機管理対策専門委員会

(令和4年度)

## 予防接種・感染症危機管理対策専門委員会報告書

広島県地域保健対策協議会 予防接種・感染症危機管理対策専門委員会

委員長 桑原 正雄

### I. はじめに

令和4年度の本委員会および本委員会に付随する予防接種ワーキンググループの活動について報告する。

### II. 協議内容

(1) 予防接種・感染症危機管理対策専門委員会  
令和5年3月16日(木)に予防接種・感染症危機管理対策専門委員会を開催した。

#### ①感染症に対応できる人材育成に関するアンケートの実施について

新型コロナウイルス感染症の流行により、感染症に対応できる人材不足が明らかとなり、特に高齢者施設などにおいては、感染症に対応できる人材の不足が、集団感染の要因の一つであった。このことから、今後、医療・介護の分野においてますます重要となる、感染症に対応できる人材を育成するための取り組みに資する目的で、医療・介護関係団体に対して、感染症に対応できる人材育成に関するアンケート調査を実施することとした。

(※実施については、令和5年度事業を予定)

調査対象については、この度の新型コロナウイルス感染症においては、医療・介護関係団体だけではなく、保健所等も大きく関わっていたことから、行政に対しても実施することとした。

#### ○調査対象

- ・医療（広島県医師会，広島県歯科医師会，広島県看護協会，広島県薬剤師会，広島県病院協会）
- ・介護（広島県老人保健施設協議会，広島県老人福祉施設連盟，広島県社会福祉協議会，広島県介護福祉士会，広島県介護支援専門員協会，広島県臨床検査技師会）
- ・行政機関（県設置各保健所，広島市保健所，呉市保健所，福山市保健所）

調査内容については、専門人材の確保に関することと人員の確保に関することをそれぞれ調査してはどうかとの意見や、各団体の中の各個人がそれぞれの現場で従事していることなどから、団体として一つの回答にまとめることが難しく思われるため、回答に幅をもたせるような形が良いのではないかと意見があった。また、各団体から全体を見た場合の意見を伺うのか、または各団体の立場としての意見を伺うのかを明確化する必要があるとの意見が挙がった。

調査内容の土台としては、専門人材の確保に関すること、人員の確保に関することなどを中心として、各団体がどのように認識、課題を持っているのかを伺うこととした。また、各団体によっては、一つの回答としてまとめることが難しい部分があることも想定されるが、基本的には各団体の立場として意見を伺うことを目的として、調査内容等を明確化することとした。

○調査内容（表参照）

表

医療福祉分野における感染症に対応できる人材育成に関するアンケート	
<p><b>質問1（記述式）</b> 団体名</p>	
<p><b>質問2（記述式）</b> 担当者名</p>	
<p><b>質問3（記述式）</b> 担当者メールアドレス</p>	
<p><b>質問4（選択式）</b> 貴団体において、コロナ禍で最も課題となったことはどのようなことですか。（5項目選択）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> コロナの知識不足</li> <li><input type="checkbox"/> 情報の不足や錯綜</li> <li><input type="checkbox"/> 平時業務への影響</li> <li><input type="checkbox"/> 業務過剰および日常業務のスタッフ不足</li> <li><input type="checkbox"/> スタッフの健康</li> <li><input type="checkbox"/> 感染症対応人材の不足</li> <li><input type="checkbox"/> 集団感染と対応</li> <li><input type="checkbox"/> 感染対策実践の不安</li> <li><input type="checkbox"/> 医療体制や医療支援の不足</li> <li><input type="checkbox"/> 感染防止機材の不足</li> <li><input type="checkbox"/> 謠言中傷</li> <li><input type="checkbox"/> その他（ ）</li> </ul>	
<p><b>質問5（記述式）</b> 貴団体に、新型コロナウイルス感染症に対応した人材について、課題となったことを挙げてください。（記述式）</p>	<p>（ ）</p>
	<p><b>質問6（選択式）</b> 貴団体における「感染症に対応できる人材」とは、どのような人材であると考えられますか？（複数回答可）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 基本的な感染対策を理解している</li> <li><input type="checkbox"/> 基本的な感染対策について職員に指導・教育ができる</li> <li><input type="checkbox"/> ゾーニングなどの患者発生時の対応ができる</li> <li><input type="checkbox"/> ゾーニングなどの患者発生時の対応について職員に指導、教育できる</li> <li><input type="checkbox"/> 感染症に関する基本的知識等について研修を実施出来る</li> <li><input type="checkbox"/> 感染対策について地域で活動できる</li> <li><input type="checkbox"/> その他（ ）</li> </ul>
	<p><b>質問7（記述式）</b> 貴団体が考える「感染症に対応できる人材」の育成に関して、貴団体が取り組まれていることがあれば記載してください。</p> <p>（ ）</p>
	<p><b>質問8（記述式）</b> 貴団体が考える「感染症に対応できる人材」の育成に関して、あれば良いと思うものを記載してください。（例 研修制度、教材 など）</p> <p>（ ）</p>
	<p><b>質問9（記述式）</b> 「感染症に対応できる人材」の育成に関するご要望やご意見がありましたら、記載してください。</p> <p>（ ）</p>

②感染症に関するリーフレットの作成について

本委員会では、これまで、その時期で問題となっている感染症について啓発リーフレットを作成しており、過去には「肺結核」「麻しん・風しん」「蚊媒介感染症」「ダニ類媒介感染症」のリーフレットを作成している。

（※広島県地域保健対策協議会のホームページ（<http://citaikyo.jp/>）からダウンロードが可能）

新たにリーフレットを作成することとし、リーフレット案としては、「ワクチン（成人向け）」「薬剤耐性（AMR）」「梅毒（HIV含む）」などの意見が挙がった。

委員から寄せられた意見を踏まえ、今回においては、「ワクチン（成人向け）」について作成することとした。

（※作成については、令和5年度事業を予定）

(2) 予防接種ワーキンググループ

定期予防接種率の算定方法が市町間で統一されていない現状を鑑み、平成28年度から県内市町に対し、県統一の算定式を用いて定期予防接種率の調査を実施しており、令和4年度においては、令和2年度（前年度実施時に、新型コロナウイルス感染症の対応等で回答がなかった一部市町）、令和3年度の調査を実施した。また、令和4年度から積極的な接種勧奨が再開された子宮頸がんワクチンについて、定期接種やキャッチアップ接種の状況に関する調査も実施した。

調査結果を踏まえた検討については、新型コロナウイルス感染症対応等の影響により、委員会実施ができなかったため、令和5年度事業にて令和4年度調査と併せて検討を行う。

広島県地域保健対策協議会 予防接種・感染症危機管理対策専門委員会

委員長	桑原 正雄	広島県感染症・疾病管理センター
委員	石井 哲朗	呉市医師会
	大毛 宏喜	広島大学病院感染症科
	大田 敏之	広島県医師会
	大橋 信之	広島市医師会
	檜山 誠也	広島県臨床検査技師会
	久保 達彦	広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学
	小山 祐介	福山市医師会
	峠 恭雄	広島市健康福祉局保健部健康推進課
	高蓋 寿朗	舟入市民病院
	竹本 貴明	広島県薬剤師会
	西川 英樹	広島県健康福祉局新型コロナウイルス感染症対策担当 広島県感染症・疾病管理センター
	畑野 榮治	広島県老人保健施設協議会
	前川 昌士	広島県健康福祉局医療介護基盤課
	正岡 良之	広島県医師会
	溝上 慶子	広島県看護協会
	山中 康平	広島県老人福祉施設連盟